

桜の季節となりました。

日本には様々な種類の桜があり、それぞれ咲く時期も違い、花も違うのですが、桜の開花宣言や桜前線で確認されている桜の多くは「ソメイヨシノ」です。

古より桜は私たちの心を揺さぶる花です・・・。

ひさかた  
「久方の 光のどけき 春の日に しづこころなく 花の散るらむ」

と詠まれる歌が古今和歌集にあります。

こんなうららかな春の光の中、どうして落ち着いた心もなく桜は散ってゆくのだろうといった意味でしょうか。自分自身の人生をはじめ様々な事を重ねてきているのかもしれない。

春は出会いの季節でもありますが、多くの方との出会いの前に私たちはまた、多くの方との別れも経験します。入学式の前には卒業式がありますし、都市部へ就職をされ、家族と離れ初めての一人暮らしを始める方もいらっしゃるでしょう。

様々な人との縁によって私たちは生きていますが、出会いもあれば別れもある・・・。桜を見ながら多くの方が感慨深い気持ちを抱くことでしょう。

人との出会いを大切にし、これからの人生を歩いてゆく為に、私たちはかけがえのない時間を、大切に過ごしていかなくてはなりません。

## 『 禅のこころ -曹洞宗- 』

---

私たちの人生もたった一度のかけがえのないものなのです。

私たちの命には寿命があり、必ず死があります。常なるものは無いのです。だからこそ、この一瞬一瞬を、この一日を、その積み重ねとしての人生を丁寧に生きていかなくてはなりません。大切な命です、散らされて良い命は無いのです。

春の訪れを告げ、見る人々の心をよろこばす桜。散る桜を見ながら賑やかに楽しむこともできます。

そんな桜を眺めながら、多くの人との縁を感じてみては如何でしょうか？

— 終 —